

国・県・町の宝  
火災から救え  
～文化財防火デー～

1月26日の文化財防火デーに先駆けて、北方文化博物館で22日消防演習が行われました。館内には、貴重な文化財も数多く、例年この時期に実施しています。当日は、雪吹きすさぶ悪天候の中、第2分団（沢海）より伊藤分団長率いる8名の団員が参加。防火水槽や消火栓を利用しての放水訓練、次いで本館や大呂菴などの消火器の点検を行いました。そのほか、職員も参加しての消火器による消火訓練も実施され、いざという時の対処の方法を学びました。演習終了後、伊藤館長より「館内の文化財は、国・県・町の大切な宝なので、村から町に変わった今、気持ちも新たに防災に取り組んでいきたい」と挨拶がありました。



雪吹きすさぶ中での放水訓練

安全な町をめざし  
地域との連携を強化

1月24日、地域の安全と危機管理を新潟南警察署と行政がともに考える「地域安全会議」が昨年に引き続き役場で開催されました。会議には、同署から中島伸男署長をはじめとする各課長、町からは浅見町長を含む各課長、議員等40名が参加しました。町長から「犯罪防止のためには、地域との連携を図り、安全な町を目指したい」と挨拶があったのに続き、中島署長より日本の治安及び新潟南署管内の治安実態と対策について説明が行われました。外国人による不法労働や犯罪の増加、青少年問題における親の管理の不十分さを指摘しつつ「自分たちの町は自分たちで守る」という自覚の醸成が必要と強調したものでした。その後の質疑応答でも、意見交換が活発になされました。



中島署長による地域安全の説明

今年も大盛況  
横越産の味に舌鼓  
～よこごしの味を楽しむ集い開催～

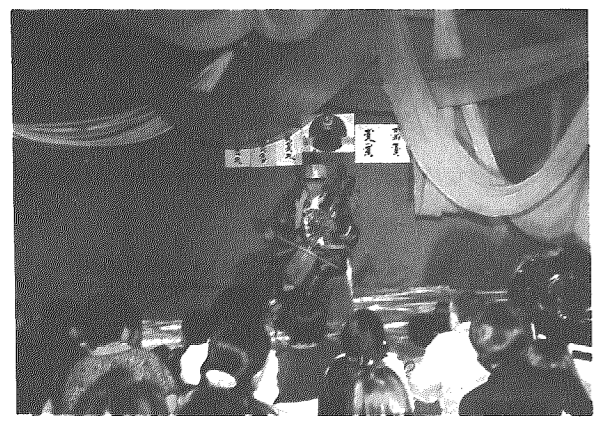
2月22日、中央公民館で阿賀の里づくり・よこごし主催による「よこごしの味を楽しむ集い」が開催されました。今年は町で生産された食材の料理をとおして、横越農業への理解を広く深めてもらうため、町外からの参加も募りました。新潟市や遠くは津川町から先着70名の方が、横越産の素材をふんだんに盛り込んだよこごし鍋やながいもの天ぷらなどに舌鼓をうちました。また、「特産クイズ」や参加者の舌を一番満足させた料理を選ぶ「味コンテスト」が実施され盛り上がりしました。



よこごしの味が勢ぞろい

幻想的な馬頭琴の音色  
「福祉と女性」の最新情報 に耳を傾ける

2月15日、町中央公民館でよこごし国際交流協会（会長 田村泰一）が、馬頭琴コンサートと新潟県海外女性派遣団参加報告会を開催し、100余名の方々が参加しました。第1部のフォスパヤルさん（中国内モンゴル自治区出身）の馬頭琴コンサートでは、新春（シネハブル）や荒城の月などを幻想的な音色で奏で参加者を魅了しました。第2部の新潟県海外女性派遣団参加報告会では、昨年11月6日から同15日までの10日間、県海外女性派遣団の一員としてスウェーデン、デンマークを視察した横越の森裕子さんが北欧見聞録と題し、「福祉と女性」の最新情報をスライドを交えながら報告し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



幻想的な音色の馬頭琴コンサート

また、資源ごみである空きびん、空き缶が燃えないごみに、古紙が燃えるごみに出されていたり、空きびん、空き缶とビニール・プラスチック類が混ざって出されていたりしています。こうした「ごみのわけ方・出し方」にある、ルールの守られていないごみは収集しません。せっかくの資源が有効に利用されるよう、ごみ排出時における分別収集の徹底に努めてください。

3月資源ごみ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	11日(火)
その他の地区	13日(木)

1月資源ごみ収集実績

空きびん	4.3 t
空き缶	3.4 t
古紙	10.0 t
合計	17.7 t

〈対象となる回収品〉

空き缶

アルミ缶  
スチール缶  
スプレー缶  
一斗缶  
菓子缶

空きびん

古紙

新聞紙  
雑誌  
ダンボール  
チラシ  
牛乳パック

回収量 1kg当り 4円の奨励金を交付します。

資源リサイクルの大きな柱となつて集約回収活動に、奨励金を交付し、積極的に支援しています。この資源リサイクルの活動がさらに推進されるよう、平成九年四月から現在の制度を次のように改正し、支援を強化します。回収量1kg当りの奨励金を三円から四円とします。資源回収対象物に牛乳パック及び空きびん類を追加します。なお、集約回収活動奨励金制度の詳細については、役場保健福祉課へお問い合わせください。

集約資源回収への  
支援強化

町福祉ゾーン計画の第一弾  
老健施設の地鎮祭挙行

二月二十四日、焼山地区内、老人保健施設「マチュアハウス横越」の地鎮祭が行われました。同地鎮祭には、設置・運営主体である社会福祉法人新潟慈生会をはじめ、浅見町長、金川議長、地元区長、地権者及び工事関係者などが参列し、工事の安全を祈りました。老人保健施設とは、人間の尊厳性を基本に、要介護者の主体性や自立性を最大限に尊重し、その多様なニーズに対応したきめ細やかなサービスを提供し、地域の中で人間関係を保持できるように配慮された施設です。同施設も、完成すると入所九十五名、通所で五名の方々が、入浴や健康チェックなどのサービスを受けることが可能となり、家庭や社会に復活するための効果的機能訓練と、楽しい生活を送ることができます。なお、施設の総面積は約四千三百六十坪で完成は今年の八月初旬、オープンは下旬の予定です。



リサイクルによる効果

アルミ缶 1個 = 半日間 40w 電球

アルミ缶1個を資源化することで40wの電球を半日つけっぱなしにしておけるだけの熱量が節約できます。  
〔資源・エネルギーの節約量 97%〕

古紙 1t = 20本 木

古紙1tを資源化することで直径14cm、高さ8mの木20本を伐採しないですみます。  
〔資源・エネルギーの節約量 70~75%〕